

2022年です。
遅くなりましたが、
明けましておめでとうございます。
今年も皆さんにとってすばらしい一年となりますように。
さて、今月は司書の水野先生と図書係うさももが本を
紹介します。
さあ、図書館便りを片手に、
新しい本とどんどん会いましょう!



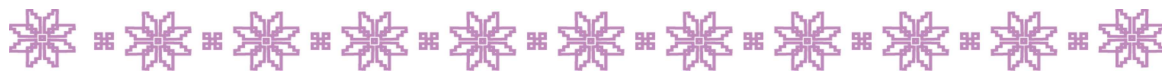
○図書係うさもものオススメ①

書名 **ビギナーズ・クラシックス 日本の古典**
『万葉集』 角川書店編

3年生の最後の授業で和歌を取り上げることにした。2学期に和歌の修辞法をしたことだし、ちょうどよいか?と思って…。全部はできないので、定番だけ『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』から少しずつ選んだ。学習プリントはできた。そこで思った。最後の授業、ただ聞くだけでは寂しいなあ、と。そう勝手に思ってあげて、作業を入れることにした。どうせなら皆一緒にないほうがいいだろう…。と決まったのは冬休みの最終日。生徒に課題を出したけど、『万葉集』でどうなんだろう、ちょっと読みたいなと思ったが、もう図書館は開いていない。で、買ったのがこの本。

このシリーズ、有名どころを押さえていて、解釈有り、そして、ちょっとした解説有りという、古文が苦手な人にうってつけです。ほんと「ビギナーズ」だと思います。

ちなみに、教科書掲載のものはほぼ全て収録されていました。教科書でございなあ、としみじみ思ったのでした。



～ お知らせ ～

新着図書案内プラス1月号でもお知らせしましたが、雑誌ノンノの付録のカレンダーを希望者にプレゼントします。

欲しい人は図書室まで申し込みに来てください。1つしかありませんので、申し込み者多数の場合は抽選となります。

カレンダーは、アニメ『呪術廻戦』の2022年の卓上カレンダーです。(サイズは約15×14cm)申し込みは1月31日までです。



○司書水野のオススメ!

書名 『食っちゃ寝て書いて』
著者名 小野寺史宜

この本は、私が最近1年間に読んだ本の中で一番面白かった小説です。この小説は、2019年の本屋大賞で、『ひと』が第2位となった著者の、2020年に出版された長編小説です。

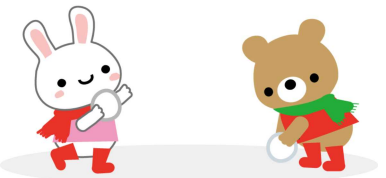
物語の主人公は、50歳を目前に控えた売れない小説家・横尾成吾と彼の担当編集者・井草菜種です。物語は、横尾成吾が取りかかる新作小説の進行と共に、彼ら二人の私生活の様子を描きながら、小説完成を目指して進んでいきます。

この物語にドラマチックな展開が起きることはありませんが、何気ない日常に共感できると共に、笑いを誘います。

たとえば、「豆腐の蓋が開けづらいので、豆腐の会社に電話をする」というエピソードが登場します。そのエピソードがなんとも言えない笑いを誘います。このような平凡な話ばかりかと思いきや、最後にはちょっとだけ思わぬしかけがあり、楽しませてくれます。読書で一息つきたい人や、幸せな気持ちになりたい人におすすめです。

○図書係うさもものオススメ②

書名 『マイフィンランドルーティン』
著者名 週末北欧部chika



ブームというよりもはや定番の「フィンランド」。
そんなフィンランドを扱ったエッセイ
『ほんとはかわいくないフィンランド』もオススメです、
今回紹介するのは、『マイフィンランドルーティン』という
コミックエッセイです。本物感あるイラストも可愛いのですが、
ちょっと独特の作者の自画像が癖になります。
フィンランドを旅するというより滞在やなあと思いつつながら、
なんだかフィンランドに行きたいというか、もうすでに行った気になる
1冊です。サウナは得意じゃないけど、ビールロウリュやってみたいなとか、
可愛い包み紙で缶バッジ作りたいなとか、
気づくとじわじわ影響を受けているのでした。
ぜひぜひ読んでみて!



～2月号は11HR&12HRが担当します。お楽しみに。～



